

無限大 “∞”

～5月定期考査を終えて～

自然教室の余韻に浸る間もなく、文化祭の準備に明け暮れた5月初旬。文化祭が終わると、初めての定期考査2週間前に突入。考査が終わって、さあ次へ向かって出発だ、という時にまさかの大雨による臨時休校。そして、5月最終日である31日には進路指導部長と28回生学年主任の先生から進路についての貴重なお話。学校について・自分自身について考えるきっかけとなる5月となりました。

【初めての定期考査】

教科数が中学校に比べてかなり増え、内容も難しくなった高校の学習が始まり、初めての定期考査が終わりました。考査最終日の学年集会では、「考査の振り返りと進路」と「ことば」について話をしました。とても感心したのは、学年集会での姿勢です。4日間の考査が終わり、安堵と疲労が混ざるなかでしたが、背筋を伸ばし、話し手の目を見、体全体で話を聴く姿です。4月の自然教室前とのあまりの違い（成長）に驚かされました。やはり、講演会や行事など経験を積むごとに、学ぶこと、感じることもあるのだなと思いました。

さて、定期考査についても同じです。中学校の時にこんな点取ったことない、中学校の時には授業で理解できないことはあんまりなかったけど高校の内容はとても難しくって・という生徒の声が聞こえました。まず、中学と違い高校ではこの高校で学びたいという意欲と学力をもつ生徒が集まります。そのなかで、順位はつくもの。しかし、その順位に踊らされてはいけません。先生が求めている理解度に対して自分がどれだけ伝えられているか（ここが大事だという問題が解けているか）が3年後の進路実現のカギです。

まずは、自分の結果を受け止め、今日からの学習方法をどう変える必要があるのか考え実行していくことが大切です。そうやってトライ＆エラーを繰り返しながら成長していきます。その姿勢は、学習だけでなく、社会人になっても生きる力となりますね。

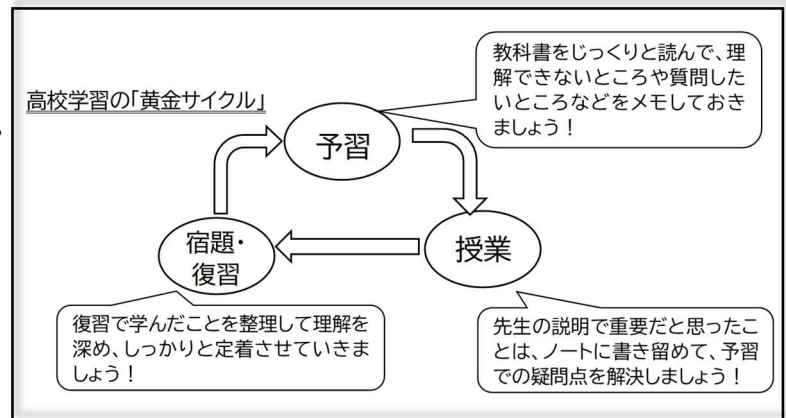
【授業を理解するために】

「宿題はやってきているが、課題は提出直前にやる、授業は知識0の状態で行く」人がまだ多いと感じます。

内田副学長が4月に「能動的に学ぶ」というお話をされましたね。

授業を理解するためには、「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクルが最も効果的です。予習で教科書のわからないところを明確にして、授業でその疑問点を解決し、学んだことや理解したことを復習しながら整理することで、これからの高校の授業にもしっかりとついていくことができます。

高校の授業は、ただ「受ける」だけではなく、「自分で学習する」という意識を持って取り組むことが大切です。少しずつ、この学習サイクルを定着させていこう!!



【勉強を始める時間はいつ?】

ベネッセ 2023 年度スタディーサポート1年生第2回全国集計結果によると、成績◎の約5割が「帰宅後すぐ」「夕食をとってから」と早い時間帯に学習時間を固定しているのがわかります。部活動と勉強の両立のためにも決まった時間（そしてなるべく早め）に学習を開始する習慣をつけましょう。

選択肢	成績◎	成績▲
帰宅後すぐ	12.8%	4.7%
夕食をとってから	35.5%	14.0%
寝る前	20.3%	21.2%
翌朝起きてから	1.8%	1.6%
その他	29.6%	58.5%

「成績◎」はGTZ(学力):S1～S3(難関大合格レベル)、「成績▲」はD1～D3(基礎・基本養成レベル)の生徒の平均回答率です。
※「GTZ(学力)」は、学力の到達度をS1～D3の15段階の大学群で表示したものです。

【1年の学びは高校の土台】

さあ、高校の定期考査がどんなレベルでどんな問題がどんなところ(教科書重視?授業プリント重視?問題集重視?実力問題多い?)から出題されるのか、少しわかったのではないかと思います。ただ、どうしても難しい問題が解けないことに目がいきがちですが、基礎・基本がしっかりでき、知識の引き出しを増やすことが長い目でみると近道になります。6月から国語(漢字)英語(単語)数学(数I教科書知識)の小テストが始まります。「千里の道も一歩から」。慌てず、ひとつひとつ丁寧に取り組んで、安定感ある土台を作っていきましょう。約2年後から始まる入試に自信を持って立ち向かえると信じて。

【保護者の方へ】

本日、生徒へ第1回定期考査の結果を渡しました。また、進路指導部長と28回生学年主任より入試の種類、県立大の特別推薦、28回生の進路決定時期などについてご講義いただきました。得た情報を、秋からのコース選択に活用して貰えたらと思います。

6月の行事予定(1年生関連)月

- ・教育実習(3日～14日)
- ・6/7(金) 中高合同防災訓練
- ・6/11(火) 進路について考える会～教育実習生から学ぶ～
- ・6/14(金) 生徒会認証式
- ・6/28(金)～7/4(木) 第2回定期考査
- [その他] 7/22(月)～7/26(木) 三者面談

【初めての文化祭】

中学と高校が一緒になっての文化祭は附属学校ならではの行事の一つです。1日目はインターびーぷる day で英語漬けの日々でした。中学生高校生の代表のスピーチのすばらしさ、司会と審査員の英語での会話を肌で感じた時間でした。準備の時間が例年より短いなか、限られた時間で協力し、アイデアを出し合い準備を進めました。当日は、中高生の大行列ができるほどの大成功でした。他クラスから出てきた人に声をかけお店に誘導するセールス係もいれば、1日目に並んだけれど参加できなかった人へ優先券を作ったクラスもあり、参加してくれた生徒が楽しめるように「すごい!!おいしい!!おぉ~!!」と盛り上げる店員たちもいて、31回生のパワーと優しさを感じた2日間でした。

そのほかにも、2年生のクラス劇、3年生の出店、有志発表、百人グリッシュ、文化部の展示や発表など、中高生のエネルギーが溢れていました。本当に附属高校の生徒は個性豊かな人材がたくさんいるのだな、と毎年文化祭の発表を見るたびに思います。来年は、クラス劇もありますが、有志発表や百人グリッシュへ挑戦する人が出てくることも楽しみにしています。

文化祭の様子はHPにも記載しておりますので、こちらには、生徒の感想を記載したいと思います。

インターびーぷる day Guest Speech 「Supiichi→Iioete」 1年5組 丸尾優花

今回は、私のスピーチをご清聴いただき、ありがとうございました。

スピーチは、中学3年生の7月頃、行事で披露させていただいたものです。中学校の学校説明会等でも何度か発表させていただき、今回は私にとって6回目の「本番」となりました。まさか1年も話すことになるとは思いませんでした。

小学生の頃、私はすごく英語が苦手でした。声が小さく、人前に立って話すタイプでもありませんでした。今でもそれらに若干の苦手意識がありますが、スピーチ、とっても楽しいです！思い切って真っ直ぐ向き合ってみると、一つも苦ではなくなる瞬間が何度もありました。

私にとってイングリッシュスピーチは、苦手なものに対する姿勢と取り組み方を学ぶことができた、大切な経験です。

最後に、スピーチに関して素敵なお言葉をかけてくださった皆さん、とっても嬉しかったです。ありがとうございました。

「変な病院いかがでしたか」

1年1組 文化委員 敦賀祥太
山富凜音

いち番初めの行事である文化祭。いち組の模擬店準備は模擬店が決まるのは早かったものの、すぐ準備、とはいきませんでした。文化祭の強敵たちの自然教室とGWが、やってきたのです。不安になりつつ模擬店名の変な病院、とかかれた看板の製作をながめているのは楽しかったです。病院感を出しながら、というのは病院をテーマにしているお化け屋敷では重要な点です。最終的には病院かこれ、というものに仕上がりました。れん習はほぼせずに驚かしましたができました。来られた方の中には耳へのダメージが大きい叫び声の方もいましたが、笑いをこらえるほうがぎりぎりで大変でした。初日の営ぎようにはギリギリ間に合わないと思う事も多かったのですがなんとか底力で開店できたので本当によかったです。ご来院ありがとうございました。



「1-2の絆」 1年2組 文化委員 山田侃瑠 小林新

僕たち1年2組は、はじめは「お化け屋敷」「映えスポット」「カラオケ」などいろんな案を考えていました。できるだけお客さんに楽しんでもらえるように、時間をかけて決め、「ストラックアウト」と「ダーツ」になりました。作れる時間が限られている中、買い出しに行ってくれる人や、放課後残ってくれる人がいて、最後まで協力して完成させることができました。(山田)

私たちはストラックアウトとダーツをしました。少しでもお客さんに楽しんでもらうために細かい部分までこだわり工夫して作ることができました。実際に自分たちで何をするか考えてみんなで協力してつくることは初めてで、文化祭を成功させた時はとても嬉しかったです。また、クラスでの仲も深まり最高の思い出になりました。また来年の文化祭が楽しみです。(小林)

「フォトスポット」 1年3組 文化委員 衣笠愛理 中村俊介

私は今回の文化祭で様々な事を学びました。一つ目は事前の準備の大切さです。皆が丁寧に心を合わせて準備したことによりすばらしい出来栄となりました。それにより初日は長蛇の列ができました。二つ目は、本番で予想外のことが起こっても柔軟に対応し、次に活かすことです。初日に予想以上の人が並び、列が二股に分かれるといったトラブルがありましたが、呼びかけによって一列に戻すことができました。初日に並べなかった人にはファストパスを渡すなどしました。

入学して間もないクラスでありながら、自分たちで話し合いや準備を行いました。少ない時間の中みんなで分担し、クラス一人ひとりが作業を進めました。間に合うか不安な部分もあったけど、作りたかったスポットをすべて上げることができ、達成感が得られました。すると、先輩方にもすごい!!と言ってもらえました。予想以上の人が来てくださり、初めての文化祭がとてもよいものになりました。

「ROUND1-4!!」 1年4組 文化委員 荒井奏亮 衣笠亜美

僕は中学校時代クラスの出し物を考える機会がなかったので、高校生になって初めて文化委員として文化祭の出し物について考えました。初めは覚えなないといけないことの多さやクラスの全員が話を聞いてくれるかなどたくさんの不安がありました。しかし、クラスで話し合う時には全員がしっかり話を聞いてくれたり、たくさん案を出してくれたおかげで緊張がとけてしっかりと責任を果たすことができました。本番では全員で役割分担をして時間を守って協力し、楽しく文化祭を終えることができてとてもやりがいを感じました。(4組 荒井奏亮)

高校生になって初めての文化祭は想像以上に楽しく、クラスの絆もすごく深まりました！準備時間が短くて準備が間に合うかどうか心配でしたが、クラスみんなで協力し、無事当日を迎えられました。当日は、クラス一人一人が自分のできることを精一杯頑張ったり、劇やステージ発表では、中高全生徒で楽しい時間を共有することができ、良い思い出となりました。また、改めて附属中高生の良さを感じた文化祭でした！(4組 衣笠亜美)

「人生逆転」 1年5組 文化委員 小寺優大 梶野文香

1年5組では人生逆転集えギャンブラーという名前でカジノを行いました。準備をしている段階では特にハプニングなどもなく順調に準備できていたと思います。しかし一日目の段階で3年生の先輩たちがとても多くの利益を出したことや想像よりも多くの人たちが来てくださったことにより、景品がかなり少なくなってしまいました。しかし、みんなで協力することによって二日目も成功させることができました。

最終結果は来場者数が400人近くで売り上げが38540円になり、クラスが一丸となって頑張った結果がこのような形で残ったことはとてもよかったと思います。今までお世話になった先生や先輩方、また中学時代に仲良くしていた先輩たちなどが来てくださったり、ディーラーをしていても一緒にお客様と楽しめてとても良い思い出になりました。